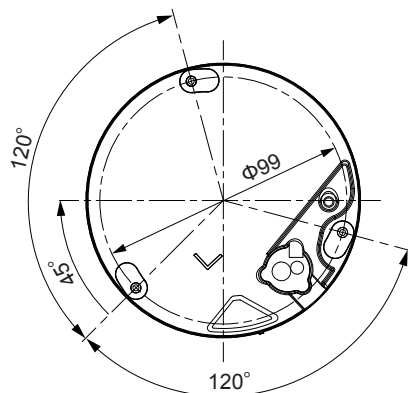
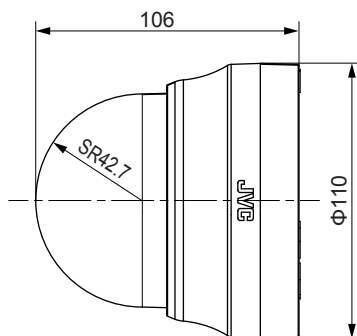


機種名 VN-H268R

表記なき単位: mm

寸法図

- ・パンの可動範囲: $\pm 175^\circ$
- ・チルトの可動範囲: $12^\circ \sim 90^\circ$ (底面に対し垂直となる方向が 90°)
- ・ローテーション範囲: $\pm 95^\circ$
- ・ケーブル長(底面より): 約 350 mm



規格

本機質量

約560 g

使用材料

取付方法	天井／壁付け
取付ねじ	M4 x 12 mm 以上
使用数	3本

施工例1

施工手順

1. アンカー(めねじタイプ)を使用して取り付ける場合
 - 1) テンプレート(付属)を使用し、アンカーに対応した孔を3箇所あけ、アンカーを挿入する。
 - 2) 必要に応じて、ケーブル通線孔をテンプレート(付属)を使用しあける。

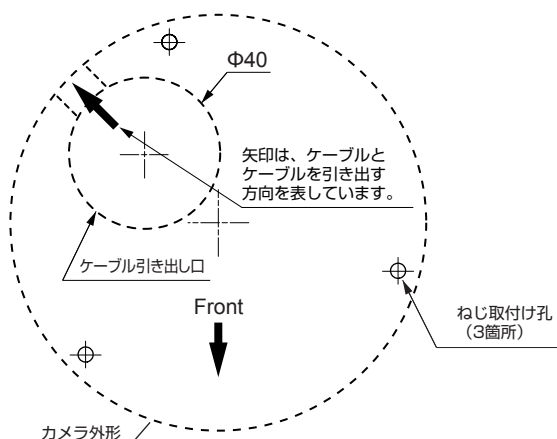


図1 テンプレート図

施工例2

施工手順(怪我防止のため、必ず保護メガネと手袋を着用し施工すること。)

1. 天井埋め込みブラケット(WB-S2215)を使用し取り付ける場合
 - 1) 天井に $\Phi 120$ mm の孔をあける。
 - 2) ブラケットの取扱説明書の指示に従いブラケットを天井に取り付ける。
 - 3) カメラに付属されている取付プレートとM4ねじ(2本)を使用し、取付プレートをブラケットに取り付ける。(ブラケットに添付されているねじは使用できません。)
 - 4) カメラの取扱説明書の指示に従いカメラを取り付ける。
 - 5) 天井パネルをブラケットに取り付ける。

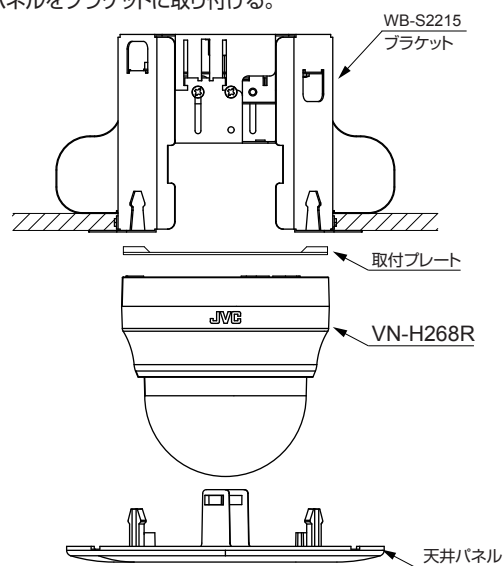


図2 天井埋め込み施工図

注意事項

1. 壁面強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保出来ること。
強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. 落下防止ワイヤー(付属していません)は一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図3)に接続すること。
落下を防止するため、本機の重量に耐えられる十分な強度のある落下防止ワイヤーで天井スラブなど、しっかりした場所に取り付けること。
又、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続すること。

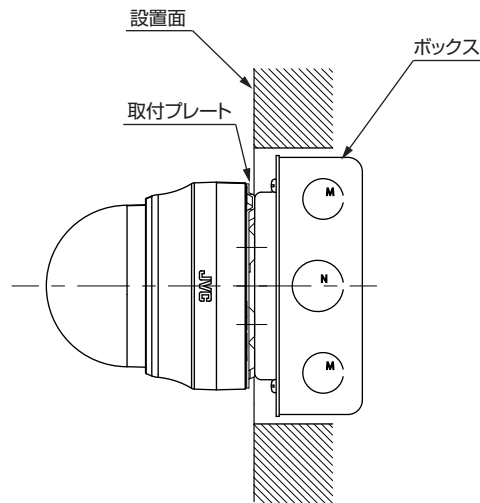


図3 落下防止ワイヤー

機種名 VN-H268R

表記なき単位: mm

施工例3



使用材料

取付方法	ボックス
取付ねじ	ねじ(M4X6 mm以上)
使用数	2本

図4 ボックス施工例

施工手順

- ボックス(付属していません)を使用して取り付ける場合
 - 添付の取付プレートを添付のM4ねじ 2本でボックスに取り付ける。
 - カメラを付属のM4ねじ3本で取付プレートに取り付ける。
 - ボックスの外形寸法で壁や天井に孔を開けた場合は、ボックスが見えないよう施工することをお勧めします。

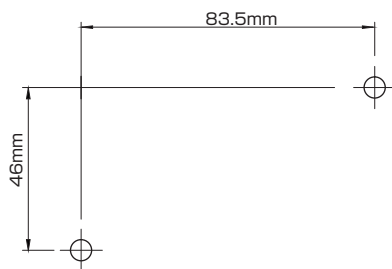


図5 ボックスのカメラ取付部寸法

注意事項

- 壁面強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保出来ること。
強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
- 落下防止ワイヤー(付属していません)は一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図3)に接続すること。
落下を防止するため、本機の重量に耐えられる十分な強度のある落下防止ワイヤーで天井スラブなど、しっかりした場所に取り付けること。
又、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続すること。